

道南/道東でキヤノン CT ユーザー会を開催！

キヤノンメディカルシステムズ 北海道支社

札幌市内では日々、様々な勉強会や研究会が開催されていますが、遠方にお住まいの方々は時間的・距離的問題で参加が難しくなる事も多いかと思えます。そこで北海道 CT 遠友 ser 会では、そのような札幌に足を運ぶ事が難しい方々にも気軽に CT の勉強会に参加して欲しいという思いから、2014 年より各地域でユーザー会を開催しております。この度、道南地区と道東地区でキヤノン CT ユーザー会を開催しましたので報告します。

Canon
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

道南 Canon CT/MR ユーザー会

日時：2019年5月18日(土) 14:00~16:55 (受付開始 13:00~)
場所：函館五稜郭病院 4階第1・2会議室 ※お弁当をご用意しております。
会場後方にデモ機を用意いたします。
日ごろ疑問に思っている操作方法等ありましたら、お気軽にアプ担当者までお声がけください。

Program

14:00~14:05 開会挨拶
14:05~14:30 情報提供 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
14:30~15:20 ユーザー発表 座長：函館五稜郭病院 長崎 尊 様
「手術手技を意図した画像処理と撮像について」 函館五稜郭病院 大須田 恒一 様
「模型が無ければ手術しえん！〜実物大臓器立体系モデルを用いた手術支援〜」 函館中央病院 石田 雄大 様
「当院におけるMRAでのVRの現状」 函館脳神経セントラルクリニック 中河 竹典 様
15:20~15:35 CTアプアワー キヤノンメディカルシステムズ株式会社
15:35~15:50 休憩
15:50~16:50 特別講演 座長：西部脳神経クリニック 貞壁 武司 様
「CT/MRIを用いた脳神経領域の手術支援画像」 札幌医科大学附属病院 平野 透 様
16:50~16:55 閉会挨拶

Access



●電車
市電 五稜郭公園前下車
●バス
函館バス 五稜郭/大停下車
●車
病院の駐車場をご利用下さい。
※駐車場を無料でお利用するには駐車印が必要です。
会場へは駐車印を準備致します。

Information
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 北海道支社 営業推進部 矢野 竜太郎
TEL.011-785-3131 / FAX.011-785-1104/ E-Mail: ryutarou1.yano@medical.canon

キヤノン道東CTユーザー会

2019/ 6/8 (SAT) 15:00~18:00 (受付開始14:30~)
会場：釧路市生涯学習センター 6階 学習室602

15:00 開会挨拶
15:05 キヤノンメディカルシステムズからの情報提供
15:20 ユーザー発表 座長：釧路孝仁会記念病院 山本 網記先生
●『コーンビームアーチファクトおよびOSRに関する基礎的検討』 釧路赤十字病院 山岸 寿義先生
●『IVR-CTの使用経験』 町立中標津病院 千葉 慎太郎先生
●『AquilionONE GENESIS Editionの使用経験』 釧路孝仁会記念病院 君島 誠先生
16:20 アプアワー「線量管理とワークステーションDoseXrossの紹介」
※DoseXrossは会場で展示予定
16:45 休憩
17:00 特別講演 座長：釧路赤十字病院 熊谷 敬広先生
『腹部CTはダイナミック！』 勤医協中央病院 船山 和光先生
18:00~ 情報交換会 (学習室601) 参加無料 ぜひこちらもご参加ください！

Access



釧路市生涯学習センター 6階 学習室602
釧路市常盤町 4番28号

- ・釧路駅から徒歩20分(1.6km)
- ・釧路駅からタクシーで利用の場合：約5分
- ・バスご利用の場合：くしろバス停留所「釧路三慈会病院」下車
- ・駐車場無料

Information
キヤノンメディカルシステムズ 北海道支社 営業推進部 井上 学
TEL.011-785-3131 / FAX.011-785-1104 E-mail: CMSC-envouser-admin@medical.canon

左:道南ユーザー会プログラム 右:道東ユーザー会プログラム

道南地区のユーザー会は CT/MRI 合同のユーザー会で、今回のテーマは“3D 画像”。6 月 23 日 (日) には画像等手術支援認定診療放射線技師認定資格試験も行われ、最近では手術支援に向けた 3D 画像作成の重要性も再注目されています。ユーザー発表も 3D というテーマに沿って、函館五稜郭病院 大須田先生、函館中央病院 石田先生、函

館脳神経セントラルクリニック 中河先生からご発表頂きました。



右:「手術手技を意識した画像処理と撮像について」 函館五稜郭病院 大須田恒一 先生

中:「模型が無ければ手術しえん！～実物大臓器立体モデルを用いた手術支援～」 函館中央病院 石田雄大 先生

左:「当院における MRA での VR の現状」 函館脳神経セントラルクリニック 中河竹典 先生

特別講演では札幌医科大学附属病院の平野先生から「CT/MRI を用いた脳神経領域の手術支援画像」とのタイトルで、脳外領域における撮影や再構成方法、画像処理のポイントについてお話頂きました。また実際に術場を見学することで医師が望む画像を理解できること、医師との綿密な連携の必要性が示されました。



講演する平野先生

2019年4月8日(月)から放送されていたフジテレビ系 月9ドラマのラジエーションハウス ([キヤノンメディカルシステムズは各種画像診断機器の撮影協力を行いました! CTは Aquilion Prime SP で協力](#))でも医師と技師の連携を描くシーンが多々ありましたが、実際の医療現場でも患者さんの手術成功に向けたチーム医療の重要性が再認識できるユーザー会になったと感じます。

道東地区のユーザー会は6月8日(土)に開催されました。今回が

初めてであるため集客に多少の不安はありましたが、当日は44名と多くの先生方にご参加頂き、会場も満席となりました。



道東ユーザー会 会場の様子

ユーザー発表は、釧路赤十字病院 山岸先生、町立中標津病院 千葉先生、釧路孝仁会記念病院 君島先生より各施設の使用経験や画質検討についてお話頂きました。



右：「コーンビームアーチファクトおよび OSR に関する基礎的検討」 釧路赤十字病院 山岸寿義 先生

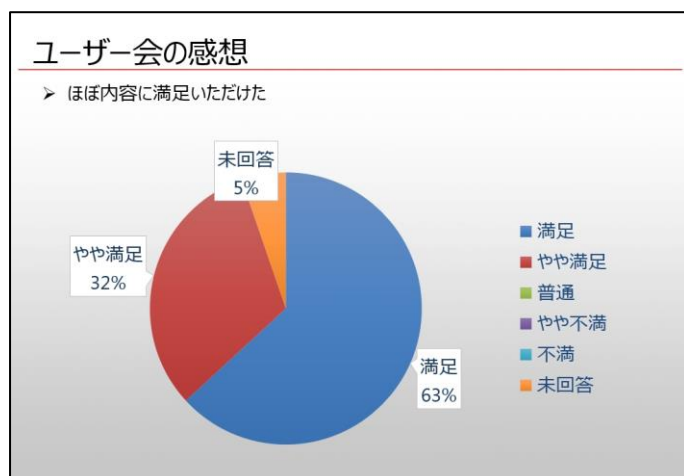
中：「IVR CT の使用経験」 町立中標津病院 千葉慎太郎 先生

左：「AquilionONE GENESIS Edition の使用経験」 釧路孝仁会記念病院 君島誠 先生

特別講演では勤医協中央病院の舩山先生から「腹部 CT はダイナミック！」とのタイトルで、肝臓以外にもダイナミック撮影が有効である事が示されました。また当社のサブトラクション機能の1つである CE Boost が搭載されていない装置でも、ワークステーションや CT 本体の機能を駆使することで同様の処理が行えると、裏ワザ的な紹介も有りました。



講演する舩山先生



道東 CT ユーザー会アンケート結果

初めての道東地区での CT ユーザー会でしたが、アンケートでも 95%の参加者から満足の声を頂き大盛況に終われたと感じております。10月には道央圏での CT ユーザー会も計画しています。こちらも多くのご来場をお待ちしております！